

編輯室の内外

前號編輯の終り頃は突發せる不祥事件の爲め帝都は今にも硝煙彈雨の巷と化するにあらざるかと危ぶみ恐れながら校正に從事し漸く月初に刊行し得たが本號の編輯は尙戒嚴令施行下に從事したのである、安心して編輯し得たのであるが尙一抹の杞憂を感せられたのである、幸に所期の刊行を見るを得たのは本懐とする所である。

事の成るは成るの日に於て成るのではない、其の由つて來る所は漸を追ふて而かも之を辨ずることの早からざるに在る、這回の不祥事件も其の由つて來りたる所は數年前に胚胎したるを思はざるを得ない、然り而して拔本塞源の策に出づることを得ざりしとはいへ、少とも關戸綯繆の途に出でざりしを最も遺憾とする、此遺憾があるので高橋、齋藤、渡邊、鈴木諸氏の功臣大官が傷害せられ學國其の不祥を悲しまざるもの

はない而かも該事件の裏に幾多の尊ぶべき人命の犠牲がある、過去で過去はあるが深く將來を戒心する所がなければならぬ。

潮新内相の地方長官に訓示せられたる所は唯所信の一端に過ぎざるものと推察する苟くも身の官に在る者は克く其の訓示の眞髓に觸れて行動し善所する所なかるべからずと信する、公私を混亂せめず、政弊の百出を排除し淵源遠き我國體をして其の流れの愈清からんことを期せられよと希ふの外はない。

財團法人柳澤統計研究所刊行に係る柳澤保惠伯の「統計選集」は實に克く統計界の大權威者たる柳澤伯を談るものである、梅檀は二葉より馨しとの言の眞なるを思はしむ即ち明治二十四年四月 明治天皇行幸の際、學習院高等科三年生である伯が同盟罷工概論として御前講演の光榮に浴せられたるが如き其の證左である、本統計選集は一讀して興味津々たるものがある、のみでな

く、統計に志す者の必讀に値するは吾人の言を待たずして明かである。

社會の推移は各方面に涉りて統制が主張せられ統制經濟の思想の發達に伴ひて交通統制が論ぜらるゝに至つた、自由主義の經濟の行詰りは、統制的合理化的方策の具體化を見るのである此秋本號島田氏の「統制經濟下に於ける交通企業の經營」の一文を掲載し得たるを讀者と共に喜ぶものである。(洩)

定價一部 五十錢
一ヶ年分 金六圓

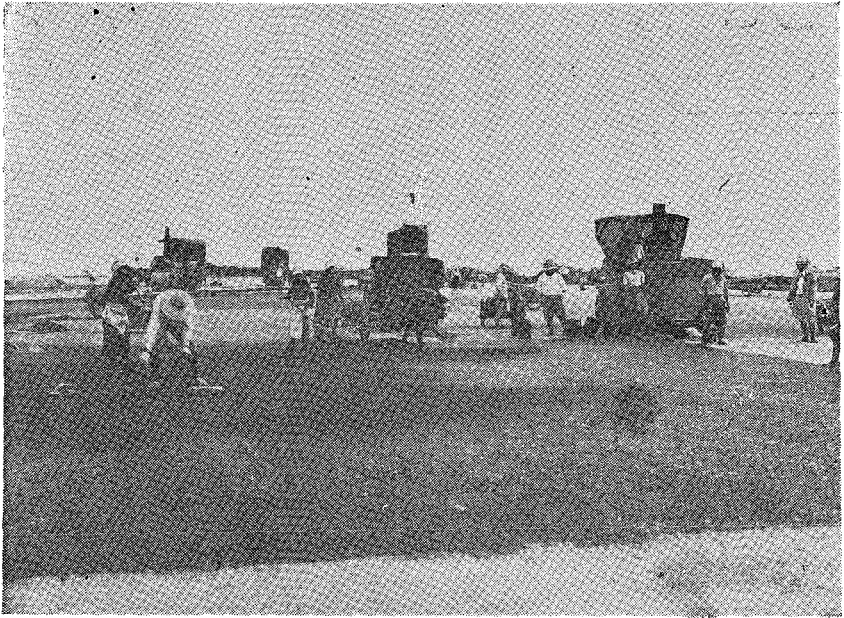
發行所 社団法人 道路改良會
東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内
電話銀座(57)四二七

發行所 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二

編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
常磐印刷所

印刷者 奈良直一



館山航空隊飛行場舗装工事状況

營業科目

瀝青乳劑舗装工事請負
 加熱式瀝青舗装工事請負
 瀝青乳劑製造販賣

東洋舗装株式會社

東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地仲二十八號館

電話丸ノ内三〇五九番

專務取締役 牛島航

同 橫濱工場

橫濱市神奈川區北幸町 電話本局二一六三番



日本ビチュムルス株式会社

東京市麹町区丸の内二丁目

電話丸の内二六七四

道路舗装工事請負
瀝青乳剤製造販賣



工場
出張所

横濱市中區中村町三三六・電話本局西二五四七
 大阪市大正區小林町九五・電話櫻川六一七九
 朝鮮馬山府本町一ノ四・電話
 大阪・名古屋・金澤・高松・門司・青森・札幌
 京城・臺北

昭和十一年三月二十五日印刷納本(毎月一回)
昭和十一年四月一日發行